

## 新幹線



「夢の超特急」と呼ばれた新幹線は旧日本国有鉄道が開発したもので、東京オリンピック開幕に合わせて1964年10月1日に、時速210kmで、東京～新大阪間を走り始めました。従来の特急列車では、東京～大阪間は6時間40分かかっていましたが、新幹線では、わずか4時間で行くことができ、1965年までには、3時間10分に短縮されました。現在は、2時間33分です。

国鉄とJRの高度な安全技術を駆使した新幹線は、以来日本の大動脈となっています。約50年の歴史において100億人近い乗客を運んでいますが、頻繁に起きる地震や台風にもかかわらず、乗客の死傷事故は一度もなく、世界で最も安全な鉄道とされています。地震発生時には、列車は地震探知システムにより、直ちに停車します。

現在の路線は、東京～新大阪間の東海道(552.6km)をはじめ、新大阪～博多間の山陽(623.3km)、東京～八戸間の東北(631.9km)、大宮～新潟間の上越(303.6km)、高崎～長野間の長野(117.4km)、博多～鹿児島中央間の九州(256.8km)に増えました。また、在来線を利用するミニ新幹線(山形～福島、秋田～盛岡)も開業しています。

ほとんどの新幹線には、普通席とグリーン車がありますが、通常、別々の車両になっています。普通席は、その名前の通り、すべての新幹線にある通常の席です。普通席のサイズとフットスペースは、種類によって異なりますが、一般的に快適で広いフットスペースが提供されています。普通は、横3列と2列です。飛行機のビジネスクラスに匹敵するグリーン車は、普通席よりも大きく、さらに快適な席とより広いフットスペースを提供します。席は、横2列ずつです。グリーン車は、普通車ほど混みません。また、別々の車両で自由席と指定席があります。グリーン車の全席は予約制です。車両が自由席か指定席かグリーン車かは、日本語と英語で表示してあります。

ほとんどの新幹線では、スナック、飲み物、お弁当を乗せた小さなカートが定期的に通路を通り販売されます。飲み物の自動販売機と公衆電話があるものもあります。

新幹線の安全運行に一役買っているのがドクター・イエローです。その車体の色からドクター・イエローと呼ばれています。ほぼ10日おきに東京、博多間を架空送電線と線路の状態を検査し、「回診」します。搭載されたセンサーが装置の状態を診断し、保守整備が必要なものは、すぐに対処されます。ドクター・イエローの時刻表は、公表されません。めったに見られませんが、見た人はドクター・イエローを幸運の印とみなします。「幸運の電車」と呼ぶ人さえいます。



参考資料

Wikipedia 新幹線

「日本タテヨコ (JAPAN AS IT IS)」 学習研究社

Japan-guide.com

niponica